

# 公共職業訓練を斬る

---

公共訓練で

“実際の仕事”ができるようになるか？  
なる！！ と思うんだけど...

職業能力開発総合大学校

能力開発専門学科 新井吾朗

araigoro@uitec.ac.jp

<http://www.uitec.ac.jp/~araigoro>

## 0 我が家をリフォームした大工さんの発言

---

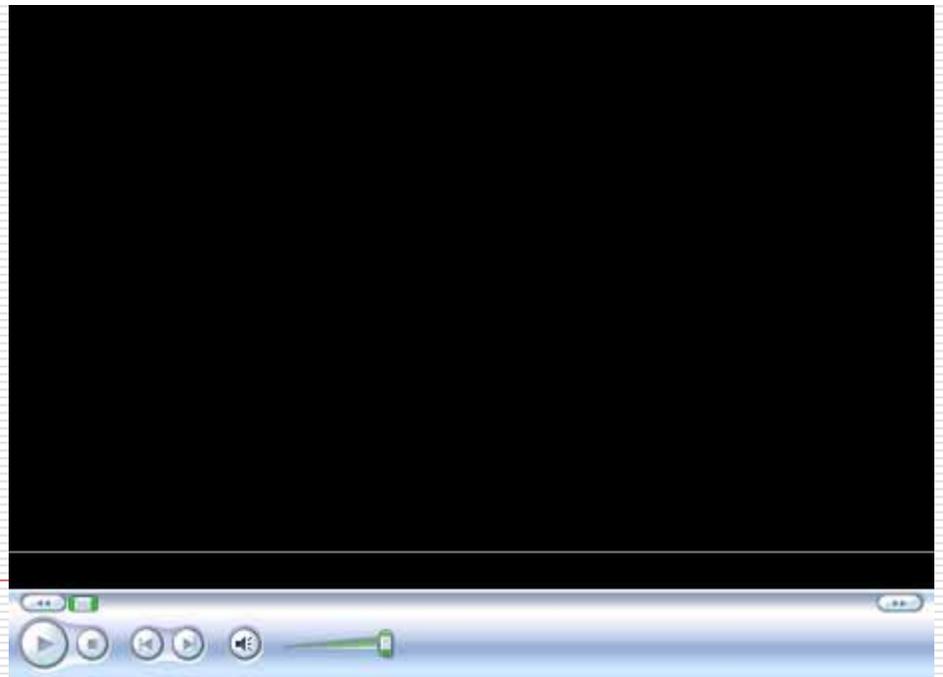
- 訓練校の卒業生って、頭でっかち、マニュアルどおりなんだよね。
  - 結局、細かいところに気が回らないんだよ。
  - お客さんに文句いわれて、はじめてわかるんだよね。
-

## 0 - 2 職業訓練ってなに？

---

- 新卒・離転職者・(在職者)に訓練をし  
訓練した分野の職場に「この人は仕事ができるんで雇ってください」と、お願いして就職させる組織
  - 仕事の現場では職業訓練修了生に  
即戦力が求められている。  
職場ですぐ働けなければならない  
就職後は、だれも教えてくれない
-





# 1 - 2 問題意識 2

---

- 部材づくりの順序
- 作成した部材のおき順をどうするか
- 他の職種の仕事とのコミュニケーションをどうとるか
- いつ・どこに足場を組むか
- 部材づくりと組み立てをどの程度オーバーラップするか
- 現場での補修をどうするか

このようなことを学習できなくなった

---

## 1 - 3 問題意識 3

---

- 即戦力がどのような能力か、  
具体的なイメージがない。
  - 即戦力を養成する  
訓練方法が確立されていない。
-

## 2 - 1 職務遂行能力の仮説

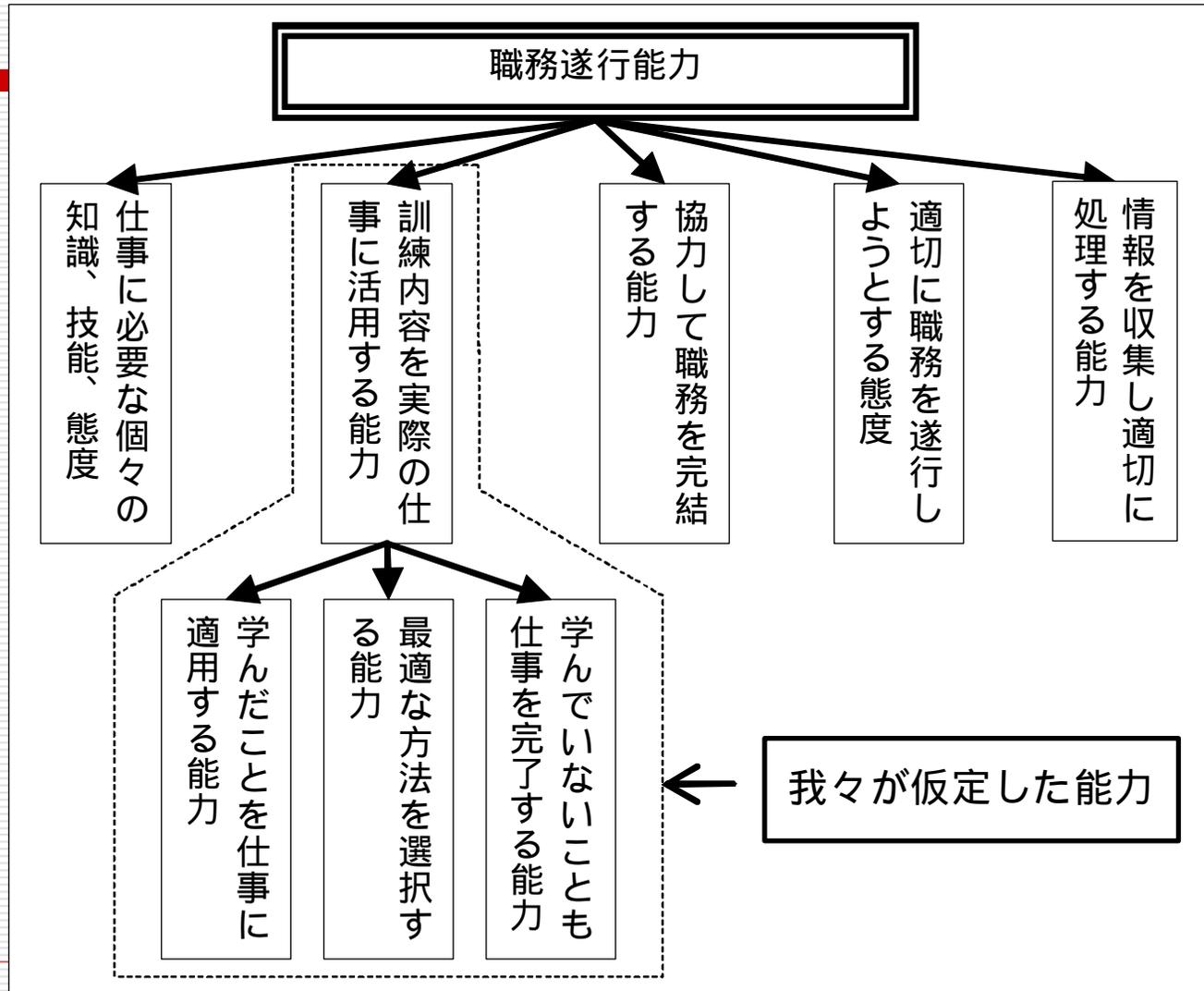


図 1 職務遂行能力の概要



# 3 - 1 職務遂行能力指導モデル

---

第1段階 仕事と要素作業の結びつけ段階



第2段階 要素作業の習得と統合の段階



第3段階 要素作業を  
実際の仕事に適用する段階

---

## 第1段階 仕事と要素作業の結びつけ段階



実際の仕事を提示

実際の職場で、どのような手順で仕事が進められているのかを提示。

- ・実際の仕事の場면을イメージできる

実際の仕事を要素作業に分解して提示

仕事の手順の中に、これから学ぶべき要素作業がどのように組み込まれているのかを提示する。

- ・実際の仕事で、学習内容がどう使われているかをイメージできる

- ・個々の学習内容を組み合わせることで、どのような範囲の仕事ができるのかをイメージできる

## 第2段階 要素作業の習得と統合の段階



### 要素作業の訓練

仕事に必要な要素作業を順に習得させる。製品の部分として提供可能な品質・時間に配慮する。

(個々の学習内容に関する能力)

### 要素作業を組み合わせた統合課題の訓練

要素作業を統合して製品を製作する。要素作業を組み合わせることで、製品を提供できることの確認、製品として提供可能な品質に配慮。この段階では、コストや効率などにこだわる必要はない。

・実際の仕事を個々の学習内容に分解して考えられる

第3段階 要素作業を  
実際の仕事に適用する段階



<p>実際の仕事を進めるための計画法の提示</p>	<p>実際の仕事を進める上での計画手法を指導する。企画・設計・工程考案・コスト・商品としての可能性等の計画方法、関連情報の収集方法の指導、一般的な計画法でなく、学習内容 - 仕事領域に特化した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これまでに学習したことで、「できる」、「できない」を判断できる</li><li>・学んでいないことでも、既存の方法がないか検索できる</li><li>・学んでいないことでも自分で学習できる</li></ul>
<p>製品課題による実際の仕事の計画演習</p>	<p>実際の仕事を想定して製品を提供する企画・設計・工程考案・コスト・商品としての可能性等を計画することだけ繰り返し演習</p> <p>その中で、最適なものを選択して、検証する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仕事の目的・方法・品質・コストに配慮して、いくつかの仕事の段取りをイメージできる</li><li>・既存の方法がなくても新しいアイデアを生み出せる</li></ul>
<p>製品課題の実現可能性の検証</p>	<p>製品課題を計画通りに商品として提供できるかを検証するため実際に製品作りをして検証する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・いくつかイメージした仕事の段取りの中で、最も現実的な段取りを決定できる</li></ul>

# 4 職務遂行能力指導モデル適用例

---

第1段階 仕事と要素作業の結びつけ段階



第2段階 要素作業の習得と統合の段階

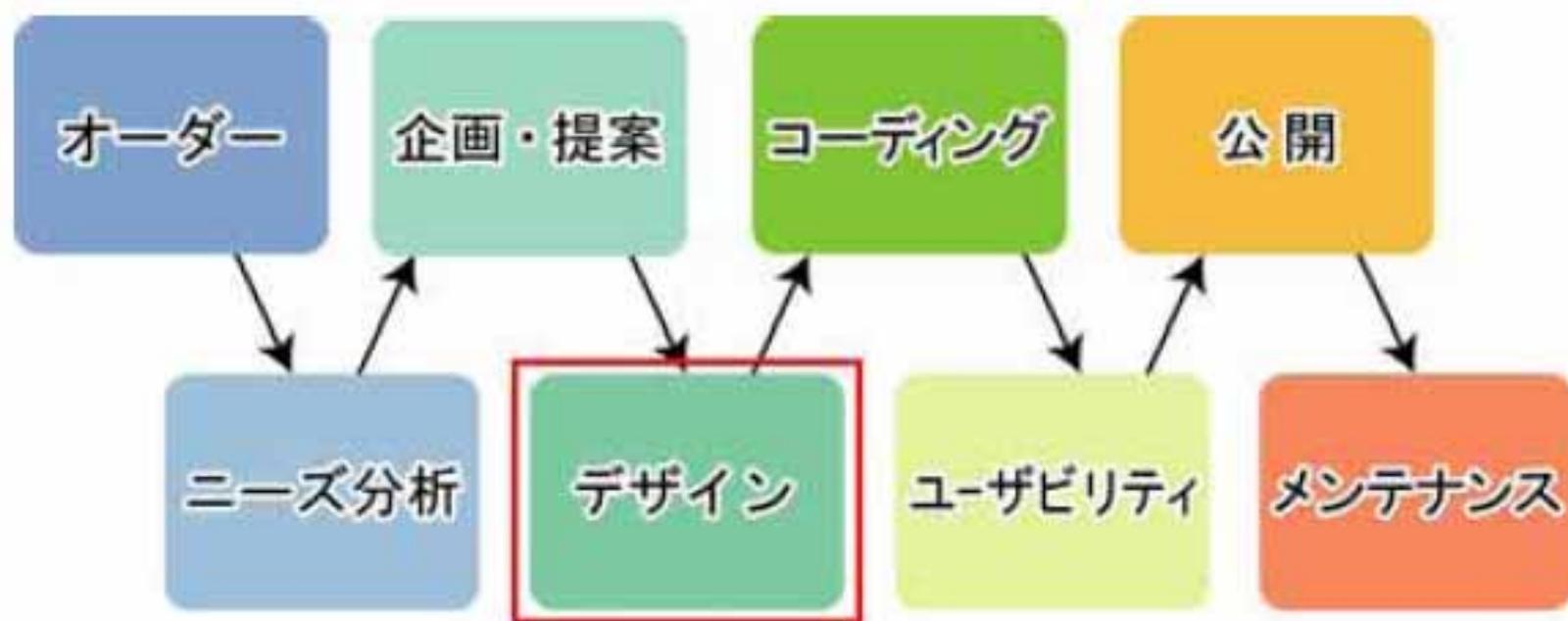


第3段階 要素作業を  
実際の仕事に適用する段階

---

# Web制作の流れ

---



# Webページのデザインを決める要素

---

## □ レイアウト



幾何学的



作成中

有機的

## □ 素材デザイン



具象



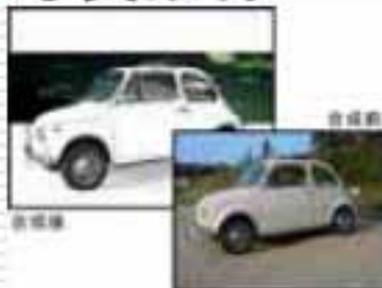
抽象

十 配色

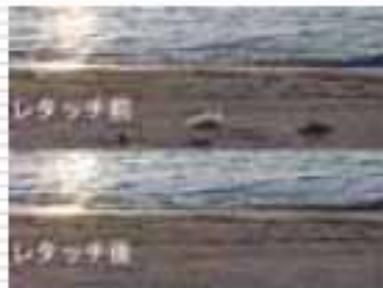
# Webページの素材作成に必要な技術

---

## □ 写真素材



合成処理



レタッチ処理



色補正

## □ イラスト素材



写真からのトレース



手書き



模様パターン

---

第1段階 仕事と要素作業の結びつけ段階



第2段階 要素作業の習得と統合の段階



第3段階 要素作業を  
実際の仕事に適用する段階

---

# 写真からイラストを作成するための技術

---



トレース操作



色・グラデーション操作



レイヤー操作



基本機能(ドロップシャドウ)

## 1. レイヤーを作る

## レイヤーの意義

レイヤーを分けることにより以下のメリットがあります。

- 1) オブジェクトをロックして任意のオブジェクトを効率良く選べる
- 2) 透過で下のレイヤーのオブジェクトを透かして見せることができる
- 3) 他のオブジェクト作成で流用することができる

例) 色違いのパソコンを作成する。

開いたノートパソコンと閉じたノートパソコンを作成する

## ★レイヤー作成の考え方★

レイヤーは、オブジェクトを構成するパーツ毎、色毎に作成するのが一般的である。目的に合わせたレイヤー作成が必要である。

## 1) 新規レイヤーの作り方

ここでは、パソコンを構成する色の違いによりレイヤーを分けます。



〈下絵〉



〈完成〉

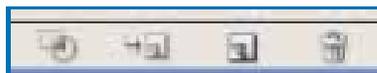
## 〈レイヤーのイメージ〉



完成予想イメージ



構成分けイメージ  
(レイヤー分けイメージ)



- ①新規レイヤーを作成します。  
レイヤーの操作は[レイヤーパレット]からする。

---

第1段階 仕事と要素作業の結びつけ段階



第2段階 要素作業の習得と統合の段階



第3段階 要素作業を  
実際の仕事に適用する段階

---

# 現場での素材作成

**Netcreator**  
Introducing Netcreator  
Creating Customized Learning Software  
for your Business / Learning materials  
(Product/Creator Manual 2)

**運用事例（四国技術総合専門学校）**  
「職業訓練推進のための研修ツール開発プロジェクト」

この事例は、研修ツールとして、企業実習の場を再現し、e-Learningツールを  
提供しています。詳細は、以下のURLをご覧ください。

**1. 使用するバックグラウンド画像**

カラーサイズ: 1920px x 1080px  
解像度: 72dpi  
ファイル形式: PNG  
ファイル名: 001.png

**2. 使用するロゴ画像**

カラー: 1色  
ファイル形式: BMP  
解像度: 72dpi  
ファイル名: 002.png

**3. ツアー画像追加**

ツアー画像追加1  
ツアー画像追加2

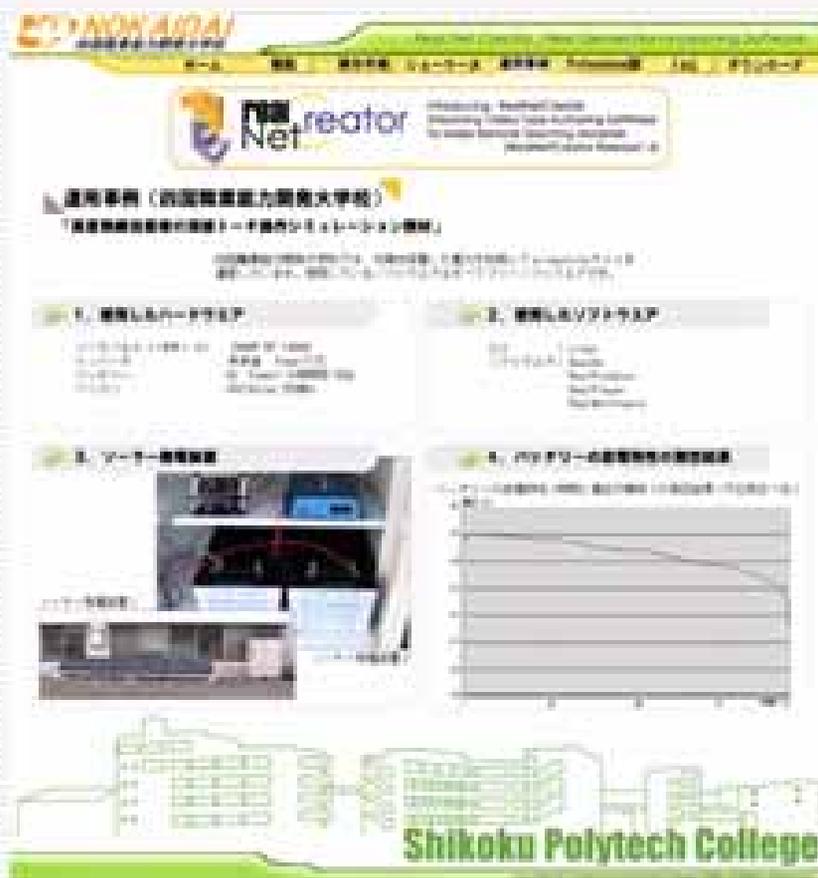
**4. パンツァー色管理機能の調整**

パンツァー色管理機能（調整）  
色管理機能（調整）  
色管理機能（調整）



- デザイナーから以下の作業を30分以内で行って下さいと頼まれました。
- ・上の建物の写真の縁をトレース
  - ・文字は建物の右下  
(文字はshikokuPolytechCollege)
  - ・枠と文字の色は緑系

# 模範解答



依頼された素材は、背景に利用するものなので、あまり目立たせない方が無難です。またHPの枠は緑なのでトレースした枠も緑が無難です。

文字は、建物の下に配置するのが無難でしょう。このような建物などの枠をトレースして背景として利用する方法はいろいろな場面で利用できます。覚えておきましょう。